

卒業研究		演習	教授 小笠原 正志	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

スポーツビジネスの領域やスポーツ組織におけるマーケティングおよびマネジメント

2. ゼミのねらい・概要

本ゼミでは、専門ゼミで学習したスポーツマネジメント分野の基本的な研究課題をふまえ、現代社会や身近な生活環境の中での現象をスポーツマネジメントの視点からアプローチした課題を設定し、各自の卒業論文を作成する。そのプロセスとして、共通するテーマごとにグループを編成し、アンケート調査やデータ入力・分析を共同作業で行いながらそれぞれの課題についてより深く分析・考察を進めていく。

スポーツマネジメントにおける様々な研究課題から各自が興味関心を持てる課題について、卒業論文という一つの成果物を作成するまでのプロセスを学ぶことを重視したい。また、群馬県内外のマーケティング調査やプロモーション活動などの連携事業を通して、スポーツの実践的な場でのマネジメントを検討する。

3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. 本ゼミの概要、ゼミの進め方などのガイダンス	1. 後期のゼミにおける課題・進め方などのガイダンス
2. 先行研究の調査方法	2. 調査研究のまとめ①(目次の作成)
3. 先行研究のリストアップ	3. 調査研究のまとめ②(方法の作成)
4. 研究計画書の作成①(全体的な見通し)	4. 調査研究のまとめ③(結果の作成)
5. 研究計画書の作成②(具体的な課題)	5. 調査研究のまとめ④(図表の作成)
6. 研究計画書の作成③(オリジナリティの明確化)	6. 調査研究のまとめ⑤(考察の作成)
7. 研究計画書の発表①(半数のグループ)	7. 調査研究のまとめ⑥(参考文献の作成)
8. 研究計画書の発表②(残り半数のグループ)	8. 調査研究のまとめ⑦(緒言の作成)
9. 研究計画書の修正(目的・方法・期限)	9. 調査研究のまとめ⑧(抄録の作成)
10. データの入力方法・データ管理	10. プレゼンテーション①(スライドの構成)
11. 統計分析の方法①(基礎集計・度数分布)	11. プレゼンテーション②(視覚に訴える配置)
12. 統計分析の方法②(記述統計)	12. プレゼンテーション③(発表原稿の作成)
13. 図表の書き方(エクセル)	13. 発表①(半数のグループ)
14. 視覚に訴える図の描き方(PPT)	14. 発表②(残り半数のグループ)
15. 前期のまとめ	15. 後期のまとめ

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業研究の作成における各段階やプロセスに応じた課題について、必要となる資料やデータを準備しておく。各自の課題に応じた準備学修として、1～2時間程度が必要である。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

研究課題への取り組みの進捗状況や課題について、個別に講評(不足している点や今後取り組むべき点など)をコメントする。また、卒業研究成果物の提出後、口頭による発表会を開催し、各自の卒業研究について講評(残された課題や今後の研究課題など)をコメントする。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本ゼミでは、スポーツマネジメント研究の課題を検討し、卒業研究としてのまとめ方やプレゼンテーションのスキル

を身につけることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

卒業研究に取り組む意欲（30%）、卒業論文の内容（60%）、ゼミでの活動（10%）などを総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

テキスト・参考文献については、ゼミでの指導の際に適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミでの時間以外（主に週末）に地域スポーツやスポーツイベント等の現場にて調査の実施やボランティア活動を実践する機会がある。また、卒業研究のテーマに応じて、学外での調査の実施や取材などに取り組む場合がある。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、企業における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。